

信楽に生きる

高橋樂斎 高橋美子 田尾 晃 三人展

令和3年1月24日(日)～30日(土)

信楽に生きる
高橋楽斎 高橋美子 田尾 晃 三人展

信楽を代表する陶家・楽斎窯には、かつて様々な著名人が訪れました。人間国宝の荒川豊藏、陶磁器デザイナーの日根野作三、陶磁学者の小山富士夫、墨蹟研究家の田山方南、そして世界的な画家ジョアン・ミロなどです。なぜ楽斎窯に人が寄って来たのかというと、高橋家の人々の人柄がよかったからです。三代楽斎に「三越で展覧会をしないか」と勧めてくれたのは、大阪の湯川胃腸病院の湯川氏で、この方はノーベル物理学賞の湯川秀樹の義父に当たる方だそうです。その湯川氏の援助で、三代楽斎は自分の窯を持つことが出来ました。

そうした歴史を背負いながら、五代楽斎氏は、古典を基調とし、信楽焼の土味と焼味を生かした、素朴で穏やかな作風の作品を制作されています。なかでも、鎬（しのぎ）のある壺に楽斎窯の特徴が見られますが、今回は同じ土を壺の表面に塗り、ヘラで整えて仕上げた力強い造形の《龍紋壺》を出品されました。この技法は、これまで風炉制作のときに使われていましたが、壺に使用したのは初めてとのこと。DM の表紙でも分かるように火色の移ろいが見事です。茶碗にも新境地が見られ、姿もよく、火色と焼肌が魅力的です。

NHKの朝ドラ「スカーレット」の主人公ではありませんが、近年信楽には女性陶芸家が増えているとのこと。楽斎氏の次女、美子さんもその一人です。滋賀県陶芸の森創作研修課技術スタッフとして勤務していましたが、今は自宅にて作陶に専念されています。楽斎窯の特徴ともいうべき《信楽しのぎ壺》には、繊細さと鋭さが感じられ、丸みを帯びた穏やかなフォルムと柔らかな焼肌の質感が魅力的です。また、得意とする鮮やかな火色の《輪花花入》は、輪花を象った口作りや膨らみのある胴部に、美子さんらしい人柄を感じます。

田尾晃氏の作品を初めて知ったのは、平成28年の「現在形の陶芸 萩大賞展IV」の図録に掲載された優秀賞受賞の《Symbiosis》でした。その田尾氏が美子さんのご主人であると知って驚きました。田尾氏は長崎市出身。アメリカのバーモント州にある The Putney School に留学し、そこで美術に興味を湧き、初めて土に触れたとき「これだ!」と感じたといいます。手に直接伝わる感触が好きで、どんな形や質感も作り出せる土という素材の虜になりました。大学卒業後帰国し、滋賀県陶芸の森創作研修課技術スタッフとして勤務の傍ら、自宅にて独自の作品を制作しています。《Untitled（無題）》は、鉱物の結晶体を想像させる角柱の集合で、複雑な円形を構成しています。一方、《Open Form》は複数の異なる面によって構成される造形性が見どころです。

近年、信楽には県外から多くの若者が移住して、陶芸家として活躍しています。その風は、信楽の陶家・楽斎窯にも吹いているようです。

森 孝一（美術評論家・日本陶磁協会 常任理事）

会 期 令和3年1月24日(日)～30日(土) 会期中無休

開 廊 時 間 11:00 ～ 19:00
※ 最終日の1月30日(土)は17:00 まで

出 品 作 家 高橋楽斎 全日在廊予定
(在廊予定日) 高橋美子
田尾 晃 1月24日(日)、25日(月)、29日(金)、30日(土)

※ 恐れながら、コロナ禍の影響で、変更になる可能性があります。

会 場 柿傳ギャラリー
〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-37-11 安与ビル地下2階
TEL 03-3352-5118 / FAX 03-5269-0335
MAIL gallery@kakiden.com
http://www.kakiden.com/gallery



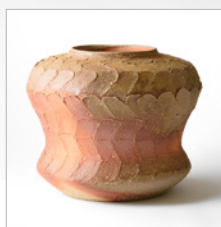
柿傳ギャラリー HP



公式 Instagram

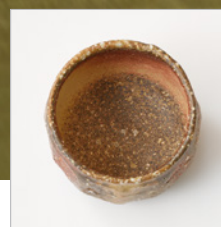


コロナ禍の影響で、会期と営業時間の変更や、オンライン展示のみの可能性もございます。お手間を恐縮ですが、弊廊ホームページや公式 SNS にて、最新情報をご確認頂ければ助かります。



高橋楽斎
Takahashi Rakusai

龍紋壺
φ38.0×H32.0 cm



昭和29年 滋賀県甲賀市信楽町生まれ
昭和50年 滋賀県立信楽窯業試験場 卒業
昭和52年 荒川豊蔵先生のもとに互窯会結成
平成4年 柿傳ギャラリーにて個展 (9回)
以降、日本橋三越本店、福岡三越、大阪高島屋、J R名古屋高島屋、京都高島屋、山口井筒屋にて個展
平成22年 五代 高橋楽斎 襲名

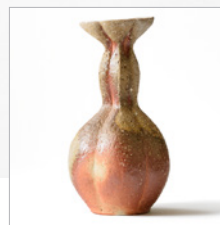
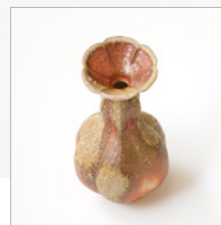
茶碗
φ11.0×H8.0 cm



高橋美子

Takahashi Yoshiko

信楽しぎ壺
φ37.0×H35.5 cm



昭和63年 滋賀県甲賀市信楽町生まれ
平成21年 関西外国語大学 短期大学部 国際コミュニケーション学科 卒業
平成24年 京都府立陶工技術専門学校 修了
平成25年 滋賀県立信楽窯業技術試験場 修了
平成28年～令和元年 滋賀県陶芸の森創作研修課技術スタッフとして勤務
現在 信楽町にて制作

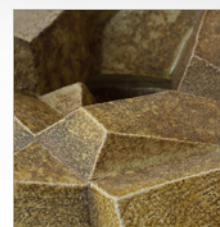
輪花花入
φ12.0×H22.0 cm



田尾 晃

Tao Akira

Open Form
W24.0×D22.0×H12.0 cm



平成3年 長崎県長崎市生まれ
平成22～26年 The New York State College of Ceramics at the Alfred University, Art&Design 学部卒業
平成26～27年 同大学にてAssistant Technicianとして勤務
平成28～29年 滋賀県陶芸の森にてスタジオアーティストとして1年間滞在
平成29年～現在 滋賀県陶芸の森創作研修課技術スタッフとして勤務
現在 信楽町にて制作

Untitled
W43.5×D23.0×H52.0 cm

価格表

作家名	作品名	本体価格/円 (税込価格/円)	作品サイズ (cm)
高橋 楽斎	龍紋壺 [桐箱付・後日]	500,000 (550,000)	φ 38.0×H32.0
	茶碗 [桐箱付・後日]	100,000 (110,000)	φ 11.0×H8.0
高橋 美子	信楽しのぎ壺 [桐箱付・後日]	200,000 (220,000)	φ 37.0×H35.5
	輪花花入 [桐箱付・後日]	45,000 (49,500)	φ 12.0×H22.0
田尾 晃	Open Form [箱無し]	38,000 (41,800)	W24.0×D22.0×H12.0
	Untitled [箱無し]	90,000 (99,000)	W43.5×D23.0×H52.0 (台付)

新宿で大人の道草を。

柿伝ギャラリー
KAKIDEN GALLERY



160-
0022

東京都新宿区新宿 3-37-11

柿ダヤナリ
KAKI-DAYANARI